

第9 健康・保健

令和6年3月に策定した、さかた健康づくりビジョンの【健康さかた21(第4期)】(令和6～17年度の12年間)の基本理念である「健康でいつまでも私らしく暮らせるまち酒田」の実現を関係機関と協力しながら目指すとともに、市全体で健康づくりに取り組めるよう施策展開を図っていく。

健康課においては、元気な市民を増やすため、保健所や医療機関、食生活改善等の団体と連携して、市民への健康づくりの意識づけを積極的に行い、がん検診の受診率向上や生活習慣の改善を図っていく。

自殺予防に向けては、同ビジョンで併せて策定された【酒田市自殺対策計画(第2期)】(令和6～11年度の6年間)に基づき、高齢者、生活困窮者、子ども・若者の自殺対策の推進や勤務問題による自殺対策の推進に重点的に取り組んでいく。

妊娠・出産・子育て包括支援では、令和5年度よりこども未来課に開設された「こども家庭センターぎゅっと」を核として、全ての妊産婦、子育て家庭、子どもの一体的な支援体制の充実を図る。

健康づくりの拠点として中町にぎわい健康プラザで多様な健康増進事業を実施し、市民の健康づくりを推進していく。

予防歯科・口腔ケア教育や健康増進事業の実施、健康づくりに取り組んだ際の特典の見直しなどにより市民の健康づくりを推進していく。

1. 健康づくり推進事業

(1) 中町にぎわい健康プラザ管理運営事業

各種トレーニングマシンや多目的スペースにより、市民が気軽に運動できる場を提供するとともに、希望者には管理受託団体のスタッフによる運動指導を行い、市民の健康増進を図った。

また、集いのスペースは、施設利用者や周辺の買い物客が気軽に休憩できる場を提供するとともに、酒田まつりやクルーズ船寄港時の観光案内所など市主催のイベント等で活用した。

① 各エリア別の利用状況

エリア名	利用者数(人)			主な利用内容
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
マシンスペース	21,380	25,328	25,385	各種トレーニング機器
うち男性	12,727	15,189	15,751	
うち女性	8,643	10,139	9,634	
多目的スペース	9,240	10,843	10,447	市保健事業及び各種市民サークルでの利用
集いのスペース	15,600	15,077	12,536	休憩、待ち合わせなど市民の憩いの場や各種イベント等での利用

※集いのスペースの利用者は概算値

② マシンスペース利用者数

(人)

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
男 性	15,751	563	799	1,755	2,520	3,262	3,822	2,536	494
女 性	9,634	160	1,206	1,297	1,881	2,201	1,848	990	51
合 計	25,385	723	2,005	3,052	4,401	5,463	5,670	3,526	545
1日平均	71.9	2.0	5.7	8.6	12.5	15.5	16.1	10.0	1.5

(2) こころの健康づくり推進事業（地域自殺対策強化事業）

自殺の背景には、様々な社会的要因があることを踏まえ、相談窓口の充実を図り、うつ病予防等に関する正しい情報の普及啓発を行うために事業を実施した。

① こころの健康相談・依存症に関するこころの健康相談

内容 個別相談（こころの悩みや不調に関する相談）
 場所 酒田市民健康センターまたはオンラインによる相談
 周知 市広報と市ホームページ、市公式 LINE に掲載、チラシを配置、相談は予約制
 担当 精神科医師または精神保健福祉士、保健師 1～2 名

開催予定日数	開催日数	相談者数	うち、オンライン相談者数
12	10	14	1

② 自殺対策の啓発と周知

(ア) 学区・地区でのこころの研修会

こころの健康づくりの知識の普及啓発を図るために、学区、地区単位で研修会を実施した。(38 回延べ 602 人)

(イ) 市民健康講演会

市民を対象にこころの病気や健康づくりについて知識を深めてもらい、自殺予防に関する理解を促すことを目的に講演会を開催した。令和 7 年度はネット・ゲーム依存症に関するテーマで医師の講演と自助グループの体験談発表を行った。(参加者数 208 人)

(ウ) 広報や看板設置等による相談先の周知

市広報および市公式 LINE に相談先の掲載、酒田市オリジナルキャッチコピー『眠れない…は心の SOS 一人で悩まず相談を』等を記載した看板を市民健康センターに設置、乗り合いバス（るんるんバス）にキャッチコピーをラッピングし、啓発と相談先の周知を図った。

また、自殺予防週間（9 月）、自殺対策強化月間（3 月）での啓発、庁内相談窓口での相談先周知を行った。(2,049 人)

(エ) 若者層への啓発

令和 7 年度新規に小中学校の児童生徒を対象にした「SOS の出し方授業」、教職員等を対象にした「SOS の受け止め研修」を学校教育課と連携のもと実施した。(授業 14 回 1,476 人、研修 9 回 246 人) また、妊産婦と家族へのうつ予防に関する啓発や相談を行った。(696 人)

③ 自殺対策のための人材育成

(ア) こころのサポーター養成講座

市民を対象に、市の自殺の実態やゲートキーパーの役割を理解し、悩みを抱える人の支援者を育成するため講座を開催した。(53回 1,113人　うち、16回 222人は地区健康講座と重複)

(イ) 支援者研修会等

市職員や相談支援事業所等の支援に携わる職員の研修会を行った。(1回 105人)また、庁内等の窓口担当者会議を行った。

④ 地域におけるネットワーク強化

自殺対策のネットワーク強化のため、健康づくり協議会自殺対策部会や相談窓口担当者会議を開催した。また、自助グループの支援および周知を行った。

(3) 食習慣改善事業

自分の健康は自分で守ることを基本に、各人が日常の生活習慣における栄養・運動・休養のバランスを考えて、食習慣改善のきっかけとなる事業を実施した。

栄養では、出前講座、食生活改善推進員の養成、食生活改善推進員の研修を実施し、市民の健康づくりの推進に努めた。

① 栄養改善教室(集団)

(ア) 乳幼児健康診査等(3か月、9か月、2歳児歯科)	48回	述べ人数	1,038人
(イ) マタニティ教室	5回	述べ人数	118人
(ウ) 離乳食教室	5回	参加者	大人 27人 子 24人
(エ) 食育出前講座	8回	延べ人数	285人
(オ) 健康栄養教室	25回	述べ人数	353人
(糖尿病高血圧予防教室、地区健康教室 他)			

② 食生活改善推進員養成

自分の健康は自分で守るという考えのもとに、地域で健康づくりを普及させる食生活改善推進員を養成する講習会を実施した。受講者は10名で、9名が修了した。

	月 日	講義数	人数	内 容	調理実習・試食
1	6. 24(火)	1. 5	10	開講式	主食・主菜・副菜をそろえて
2	7. 2(水)	1	6	食品衛生 講師：庄内保健所	
3	7. 30(水)	1	5	こころとからだの健康づくり	
4	8. 27(水)	1. 5	6	栄養の基礎知識と調理の基本	バランスの良い食塩控えめの食事
5	9. 18(木)	1. 5	6	バランスの良い献立の立て方	おいしく食べてエネルギー控えめの食事(肥満予防)
6	10. 1(水)	1. 5	7	乳幼児期・学童期・思春期の食事	子育て世代の食事
7	10. 31(金)	1	6	楽しく体を動かそう 講師：運動指導者	
8	11. 20(木)	1. 5	6	青年期・壮年期・高齢期の食事	低栄養予防
9	12. 2(火)	1. 5	7	生活習慣病を予防しよう	貧血・骨粗鬆症予防
10	12. 19(金)	1	7	食生活改善推進員と地区組織活動	
	令和 8 年 1. 14(水)		9	修了式、協議会との交流	

会場 酒田市民健康センター

③ 食生活改善推進員に対する講習

食生活改善推進員が、各地区で地域住民の疾病予防や健康増進をすすめるため、毎回テーマを設けて伝達講習会を行なっている。そこで、食生活改善推進員を指導し、その伝達を支援した。

(ア) 令和 7 年度 中央研修会開催状況

	月 日	会 場	人 数	内 容
1 回 目	7. 6. 9 (月)	酒田市民健康 センター	酒田 14、平田 9	☆自然に健康になれる環境 づくり！ 「どんな時もレシピ」 (味の素ファンデーション)
	6. 10 (火)		酒田 12、八幡 3	
	6. 11 (水)		酒田 12、松山 6、平田 1	
2 回 目	7. 7. 16 (水)	酒田市民健康 センター	酒田 13、平田 10	☆自然に健康になれる環境 づくり！ 「朝食を食べよう①」 ＋軽体操 (ラジオ体操)
	7. 17 (木)		酒田 12、八幡 3	
	7. 18 (金)		酒田 14、松山 6	
3 回 目	7. 9. 2 (火)	酒田市民健康 センター	酒田 13、平田 10	☆自然に健康になれる環境 づくり！ 「朝食を食べよう②」 ＋軽体操 (ラジオ体操)
	9. 3 (水)		酒田 12、八幡 3	
	9. 4 (木)		酒田 13、松山 6	

④ 食生活改善推進員による普及活動

(ア) 令和7年度食生活改善普及状況（食生活改善推進員数266人）

（令和7年4月～令和8年3月）

		回 数	人 数
普 及 総 数		2,764	21,712
内 容	子どもの健康・食生活	219	1,339
	若者・働き世代の健康・食生活	652	6,605
	高齢者の健康・食生活	1,494	9,752
	その他	399	4,016

(イ) 地区伝達講習会

（令和7年4月～令和8年3月）

内 容	回 数	人 数
自然に健康になれる環境づくり！ ＋軽体操（ラジオ体操） 「どんな時もレシピ」 「朝食を食べよう①・②」	95	1,778
そ の 他	13	207
合 計	108	1,985

(ウ) 男性のための料理教室（調理実習と試食、話など）

浜田、北平田、富士見、松陵、琢成、浜中、十坂、黒森、南遊佐、
松原、松嶺地区、八幡全域
12地区（13回） 参加者 144人

(エ) 親と子の食育教室（調理実習と試食、講話、ゲームなど）

広野、松陵、内郷地区
3回 参加者 49人

(オ) 「ヘルスサポーター養成を通じた地域をつなぐ健康プロジェクト」（働き世代）
働き世代 20人

(カ) 減塩および野菜摂取等の啓発活動

【リーフレット配布】 266軒

(キ) その他

・地区公民館、コミュニティセンター文化祭での普及活動

＊生活習慣病の予防の食事展示、試食

21会場 参加者 4,156人

（酒田17会場 3,721人、八幡会場 1会場 100人

平田 3会場 335人）

⑤ さかた健康マイレージ事業

健康診査の受診や重症化予防を図り、市民一人ひとりの健康づくりを支える環境を整え、行政・企業が連携し市民の主体的な健康づくりを支える目的で実施した。

- ・応募総数 439 口（実 348 人）
- ・協賛企業（景品提供数） 6 社（176 本）

また、ウォーキングによる健康増進を推進するため、県やスポーツ振興課と連携のもと、各種ウォーキングラリー等の周知やウォーキングの健康効果について広報等で啓発を行った。

（４）保健師活動状況

保健師には、地区における家庭訪問や健康教育及び健康相談等の地区担当業務と、成人保健・母子保健・健康づくり・予防接種事業等の業務があり、健康センター17 人、総合支所 6 人の計 23 人が担当している。

表①は家庭訪問を、表②は健康教育や健康相談などの内容や回数、件数を表している。

① 家庭訪問活動（訪問件数）

種 別	成 人 ・ 老 人								精 神 保 健					
	総 数	健 診 の 要 指 導	特 定 保 健 指 導	閉 じ こ も り 予 防	家 族 介 護	寝 た き り 者	認 知 症	そ の 他	総 数	統 合 失 調 症	そ う う つ 病	ア ル コ ー ル	ひ き こ も り	そ の 他
人 実	297	101	21	8	0	1	5	161	53	3	5	4	5	36
数 延	335	129	27	8	0	1	9	161	156	12	19	8	31	86

種 別	母 子 保 健								感 染 症	結 核	心 身 障 害	難 病	そ の 他	計
	総 数	妊 婦	産 婦	未 熟 児	新 生 児	乳 児	幼 児	そ の 他						
人 実	925	5	349	8	356	58	133	16	0	0	2	3	45	1,325
数 延	1,081	12	370	15	356	93	205	30	0	0	3	7	61	1,643

（在宅保健師訪問分含む）

② 家庭訪問以外の活動

健 康 教 育						
種 別	健 康 増 進	地 域 支 援 事 業	母 子 保 健	精 神 保 健	健 康 づ く り	計
件数	2,628	1,346	949	4,698	903	10,524
回数	124	83	55	162	67	491

健 康 相 談						
種 別	健 康 増 進	地 域 支 援 事 業	母 子 保 健	精 神 保 健	健 康 づ く り	計
件数	2,048	2,235	1,604	219	14	6,120
回数	158	106	239	25	5	533

2. 母子保健事業

(1) 妊娠・出産包括支援事業（こども家庭センター事業）

妊娠期から子育て期までの母子保健及び育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、令和5年4月「酒田市こども家庭センターぎゅっと」をこども未来課に設置、保健師等の専門職を配置することで、母子保健、児童福祉、児童発達の多分野にわたる組織横断的で切れ目のない総合的相談支援を行う。

※母子保健事業以外の分野の実績について、発達支援は79ページ、児童福祉関連の家庭支援は109ページ、児童虐待防止に関する相談対応状況は110ページ、母子父子自立支援は116ページに、それぞれ掲載。

① 活動内容

項目			令和6年度	令和7年度
母子相談件数		実績	2,751件	3,070件
サ ポ ー ト 事 業	産前産後 ぎゅっとサロン	実施回数 参加者	11回 82組	11回 62組
	訪問型産前・産後サポート	訪問件数	1件	1件
	母乳ミルク相談室	相談件数	199件	189件
	産後の骨盤ケア教室	実施回数 参加者数	12回 99人	12回 86人
産後ケア（宿泊型・通所型・訪問型）		利用者数	69組	222組
妊産婦支援会議		開催数	48回	47回
ネットワーク会議		開催数	1回	1回

② 母子健康手帳交付数

(冊)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交付冊数	490	452	380	399	324

※外国籍の妊婦には必要に応じて、日本語版と外国語版を一緒に交付している。

※令和7年度は外国籍の転入児用に外国語版を2冊交付した。

③ 妊娠届出状況

(件)

届出数	妊 娠 週 数				
	満11週以内	満12週～19週	満20週～27週	満28週以上	不詳
320	297	20	2	1	0

※令和7年度母子健康手帳交付数との差は双胎4人を含むことによる。

④ 母子相談数（再掲）

（人）

	総 数	母子健康 手帳交付 時相談	母性 ※1	授乳相 談※2	乳児 ※3	幼児 ※4	予防 接種	その他 (成人/学童/ DV)
来所 相談	1,669	320	939	167	88	82	48	25
電話 相談	1,362	71	1017	18	196	26	20	14
訪問	39	0	26	4	6	0	0	3
合計	3,070	391	1,982	189	290	108	66	44

※1 妊産婦の健康・各サービス相談等

※2 助産師による定期不定期の相談 母乳ミルク相談室の実績を含む

※3※4 育児相談・計測等

⑤ 妊婦のための支援給付金交付事業（旧出産・子育て応援交付金給付事業）

妊娠届出時、概ね妊娠 8 か月頃、及び出産を挟んだ出生届出後の 3 回にわたって、情報提供や面談を行う伴走型の相談支援と、出産育児関連の費用負担軽減を図るための給付金支給を組み合わせた一体的な事業を令和 5 年 2 月より実施している。

実施時期	給付事業	内容	件数	摘要
妊娠届出時	伴走型相談支援	面談・アンケート	342 人	妊婦 対象
	妊婦のための支援給 付金 1 回目	5 万円の支給		
8 か月頃	伴走型相談支援	面談・アンケート	300 人	胎児の 数
出生届出後	伴走型相談支援	面談・アンケート	383 人	
	妊婦のための支援給 付金 2 回目	5 万円の支給		

※令和 7 年 4 月から子ども・子育て支援法に妊婦のための支援給付を創設

※令和 7 年度から胎児心拍確認後の流産、中絶は対象

⑥ 産前産後サポート事業－再掲－

a ギゅっとサロン 身近な相談先として子育て支援センターを利用してもらえよう、妊産婦を対象に、相談・交流の集いを設けるもの。

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数	11 回	11 回	11 回
参加組数	72 組（内妊婦 3）	82 組	62 組（内妊婦 1）

b 産後の骨盤ケア教室 産後期の女性を対象に、骨盤底筋を意識した運動やストレッチの講習を実施し、心身の安定と体力の回復を図る。

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数	12 回	12 回	12 回
参加人数	90 人	99 人	86 人

- c 母乳ミルク相談室 授乳方法や乳房トラブル、卒乳等の悩みについて、助産師が個別相談を実施する

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
定期相談(件)	212	199	189

- d 産前産後サポート（訪問型） 要支援妊産婦へ、嘱託の看護職（保健師 助産師 看護師）を派遣し、保健指導、助言を実施。

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
延利用回数	11	1	1

- e 多胎児養育支援派遣事業 双子など多胎の乳幼児のいる家庭に支援員を派遣し、日常の育児や通院などの外出等の支援を行う。

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者数	3	3	3
利用日数(延)	24	35	106

⑦ 産後ケア事業（宿泊型）－再掲－

産後の母子に対して宿泊、通所、訪問により、心身のケアや育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施する。

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
宿泊型	実（人）	7	29	50
	延（人）	7	33	79
	延（日）	33	110	235
通所型	実（人）		5	39
	延（人）		5	72
	延（日）		5	72
訪問型	実（人）		18	38
	延（人）		31	71
	延（日）		31	71

※令和 6 年 11 月より通所型・訪問型を拡充した。

※令和 7 年 12 月より通所型の事業所が 1 か所追加。

※1 回の出産につき宿泊型は 7 日まで、通所型と訪問型は 3 回まで利用できる

（２）乳幼児の健康診査・健康相談

① 3 か月児健康診査

疾病の早期発見、発育・発達の確認と育児に関する不安や悩みに関する相談・支援を行った。

② 9 か月児健康相談

乳児期後期の発育・発達の確認と後期離乳食指導、親子遊びの指導、絵本の読み聞かせの他全般的育児相談を行った。

③ 1歳6か月児健康診査

身体発育、精神発達の確認、疾病の早期発見とともに生活習慣の自立、歯科健診、むし歯予防、食生活などに関する相談・支援を行った。

④ 3歳児健康診査

身体発育、精神発達の確認及び視聴覚検査、耳鼻科・歯科健診を行い、疾病異常の早期発見を図り、生活習慣の自立などに関する相談・支援を行った。

(3) 2歳児歯科健診

保護者から幼児の口腔の健康に関心をもってもらい、むし歯を予防することを目的に健診、歯科相談を行った。

年6回 274人参加

令和7年度 乳幼児健康診査・健康相談状況

種 別	対 象 人 員	受 診		正 常		要指導・精査・治療		実 施 回 数
		人 員	率	人 員	率	人 員	率	
3 か 月 児 健 康 診 査	387	384	99.2	194	50.5	190	49.5	健康センター 年 24回
9 か 月 児 健 康 相 談	381	379	99.5	131	34.6	248	65.4	健康センター 年 18回
1歳6か月児 健 康 診 査	356	356	100	127	35.7	229	64.3	健康センター 年 24回
3 歳 児 健 康 診 査	472	468	99.2	66	14.1	402	85.9	健康センター 年 24回

令和7年度 乳幼児歯科健康診査状況

種 別	受 診 児	む し 歯 の あ る 児	むし歯の 総 数	一人あたりの む し 歯 数	咬合異常	そ の 他 の 異 常
1歳6か月児 健 康 診 査	356	0 (0.0%)	0	0.000	10	6
3 歳 児 健 康 診 査	468	34 (7.3%)	85	0.182	26	21

(4) 乳幼児の相談、支援

① 1歳6か月児および3歳児健康診査要フォロー児教室（ひよこ教室）

1歳6か月児および3歳児健康診査において精神面の要経過観察児を対象に教室を実施し、子どもに合った関わり方について、相談・支援を行った。計10回実施し、延べ43名の参加であった。

② 乳幼児健康診査要フォロー児への対応

保育園・認定こども園訪問や地区担当保健師による家庭訪問、来所、電話等で相談・支援を行った。

③ 保育園・認定こども園訪問

保健師が市内の保育園・認定こども園を訪問し、健診後のフォローや園、保護者からの相談に応じている。

令和7年度 訪問延べ人数 907人（育ちのサポート事業・発達支援を含む）

（５）訪問指導

- ① 妊婦については、特に必要と思われる方に対して訪問指導を行った。また、全産婦を対象に産後早い時期の訪問を心がけている。
- ② 新生児、乳幼児については、全ての出生児の訪問を早期に行った。児の発育状態の確認や保護者の育児不安を軽減し、安心して子育てができるよう訪問指導を行った。また、発達等の経過観察が必要な場合等は乳幼児の家庭に訪問指導を行った。（その他は、学童や保護者・祖母等への指導である）
- ③ 訪問指導は、現職保健師と在宅保健師で行っている。

令和7年度 訪問指導実績（延）

妊産婦	新生児 （未熟児除く）	未熟児	乳児 （新生児・未熟児除く）	幼児	その他
382	356	15	93	205	30

（６）マタニティ教室

妊娠中に、母体の変化と必要な健康管理、出産や育児についての理解を深めることにより、不安を軽減し、安心して出産・子育てができるよう支援するとともに、夫婦で協力して子育てをする意識の啓発を図っている。

- ・Aコース：赤ちゃんを迎える準備 5回開催 119人参加
お風呂の入れ方体験、妊娠中の栄養、妊娠期の健康管理
- ・Bコース：家族みんなで育児 5回開催 112人参加
マタニティヨガ、父親の妊婦体験、赤ちゃんのお世話体験、安心した出産に向けて家族ができること
- ・追加コース：赤ちゃんのお世話体験 1回開催 2人参加

（７）妊婦健康診査

① 妊婦一般健康診査結果

（人）

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
320	336	336	334	327	324	328
8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
328	332	320	305	259	184	81

② HTLV-1抗体検査、子宮頸がん検診、クラミジア抗原検査

（人）

HTLV-1	子宮頸がん検診	クラミジア
314	324	318

③ 超音波検査

(人)

1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
3 4 1	3 3 8	3 2 3	3 1 2

(8) 産婦健康診査・1 か月児健康診査

産後 2 週	産後 4 週	1 か月児健康診査
270	310	313

* 対象: R7. 4. 1 出産～R8. 2 月出産

(9) 新生児聴覚検査費用助成事業

先天性難聴の早期発見・早期療養を図るため、生後 2、3 日目の新生児が受検している新生児聴覚検査費用（初回検査のみ）に上限 3,500 円を助成している。

受検数 336 人

(10) 生殖補助医療費助成事業

医療保険適用の 1 回の生殖補助医療(体外受精・顕微授精)、男性不妊治療、併用して実施する先進医療の自己負担(山形県助成と高額療養費控除後)に対し上限 9 万円の助成をしている。83 人(男性不妊治療 0 人)に助成した。

(11) 妊娠・出産・子育てに対する知識の普及啓発事業

少子化対策の一環として、これから妊娠、出産、子育てを迎える世代に対し、正しい知識を基にしたライフイベントを意識してもらうために情報提供や知識の普及啓発を図った。

① ライフプランの啓発講座(未来デザイン講座) 3 回開催 参加者 63 人

テーマ「安心出産・子育て」

- ・「子どものケアと成長発達に大切なこと」小児科医師の講話
- ・「お産のイメージと産後ママの心と体 ～家族と絆を深める話～」助産師の講話
- ・赤ちゃんお世話体験(ミルクづくり、抱っこ)
- ・個別相談

② 若い世代から自分のライフプランにおける結婚、妊娠、出産、子育てに対する意識とポジティブイメージ醸成のため中学 3 年生にリーフレットを配布し授業で活用した。

配布数 749 冊

③ 父親が、妊娠期や出産時には母親を支え、赤ちゃんが生まれた後は積極的に子育てに参加できるよう、父親手帳を作成し母子健康手帳交付時に配布している。またマタニティ教室にて父親手帳の活用を促している。

配布数 336 冊

3. 保健予防事業

(1) 感染症予防

衛生思想の普及と各種予防接種などを通して感染症発生の未然防止に努めた。

- ・市広報及びラジオでの予防啓発
- ・感染症等の注意報、警報のホームページ掲載

(2) 食中毒予防

食中毒発生予防のため、春に有毒植物による食中毒、秋にきのこ食中毒、冬にノロウイルスによる食中毒の予防啓発記事を広報誌に掲載した。また、季節にあわせた内容をホームページへ掲載した。

令和7年6月25日開催の酒田市食中毒防止対策連絡会議幹事会で、関係各課の取り組みを確認し、情報収集して取りまとめ、各課に共有することで食中毒の発生防止対策とした。

食中毒発生状況

(令和7年1月～令和7年12月)

山形県内			うち酒田市	
食中毒発生	発生件数 5件	患者数 108人	発生件数 2件	患者数 79人

(3) 結核予防事業

① 結核検診受診率の向上策

結核の検診日程表を全戸配布しているほか、広報「私の街さかた」利用による検診日程の周知や、結核予防週間にちなんで結核予防の啓発、受診のPRを行った。

② 実施体制について

胸部エックス線間接撮影は、公益財団法人やまがた健康推進機構に委託し実施した。間接撮影は、基本健康診査と合わせて実施した。

なお、本市の結核患者登録数は、令和6年12月末日現在5人、うち新登録患者数は2人である（庄内保健所調べ）。

③ 実施状況

種別 区分		対象者 (人)	間接撮影 実施人員 (人)	要精検者 (人)	精密検査 実施人員 (人)
一般住民	65歳以上	23,581	10,778	419	337

(4) 予防接種事業

感染症の罹患と発生を予防するため、各種予防接種を行った。

① 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種

65歳で過去に高齢者肺炎球菌ワクチンを接種していない方に案内通知を送付し、4,000円の助成を行った。

② 带状疱疹ワクチン予防接種

65、70、75、80、85、90、95歳の者、及び100歳以上の者に案内通知を送付し、生ワクチンは4,000円を1回、組換えワクチンは11,000円を2回の助成を行った。

③ 高齢者インフルエンザ予防接種

一般は1,700円、生活保護世帯は全額の助成を行った。

④ 季節性インフルエンザ予防接種

新型コロナウイルス感染症との同時流行を予防するため、皮下接種を受けた生後6か月～18歳の者、妊婦及び19～59歳の基礎疾患を有する者は1,700円、生活保護世帯は全額の助成を行った。また、経鼻ワクチンを受けた2歳～12歳の者は3,400円、13歳～18歳の者は1,700円、生活保護世帯は全額の助成を行った。

⑤ 風しん抗体検査・予防接種

妊婦の風しん感染による新生児の先天性風しん症候群の罹患を防ぐため、妊娠を希望する女性、風しん抗体価の低い妊婦の夫及び同居家族を対象に風しん抗体検査、予防接種費用について全額助成を行った。

⑥ 風しん5期

令和6年度のワクチン供給不足により、令和6年度中に受けることができなかった者を対象に、定期の予防接種を令和8年度末まで延長して行っている。(対象は次のとおり。①麻しん風しん1期令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれの者、②麻しん風しん2期平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの者、③風しん5期昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で、令和6年度末までに抗体検査を実施し、風疹抗体が不十分で予防接種を実施していない者。)

⑦ ヒトパピローマウイルス感染症予防ワクチン（HPVワクチン）

令和4年度より積極的勧奨を再開し、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した女性（平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれ）に、令和7年度末までキャッチアップ接種を実施した。

⑧ 新型コロナワクチン

一般は7,800円、生活保護世帯は全額の助成を行った。

■予防接種状況

種 目			実施月日	対象者数	実施者数	接種率（％）
ロタウイルス	1回目		4/1～3/31	357	361	101.1%
	2回目			357	364	102.0%
	3回目			357	273	76.5%
B型肝炎	1回目		4/1～3/31	357	363	101.7%
	2回目			357	375	105.0%
	3回目			357	372	104.2%
ヒブワクチン	1回目		4/1～3/31	357	0	0.0%
	2回目			357	0	0.0%
	3回目			357	0	0.0%
	追加			389	21	5.4%
小児用肺炎球菌	1回目		4/1～3/31	357	366	102.5%
	2回目			357	373	104.5%
	3回目			357	389	109.0%
	追加			389	349	89.7%
4 種混合	1期	1回目	4/1～3/31	357	0	0.0%
		2回目		357	0	0.0%
		3回目		357	0	0.0%
		追加		389	155	39.8%
5 種混合	1期	1回目	4/1～3/31	357	366	102.5%
		2回目		357	372	104.2%
		3回目		357	388	108.7%
		追加		389	308	79.2%
B C G			4/1～3/31	357	380	106.4%
麻しん風しん混合	1期		4/1～3/31	354	345	97.5%
	2期			552	522	94.6%
水痘	1回目		4/1～3/31	389	346	88.9%
	2回目			459	347	75.6%
日本脳炎	1期	1回目	4/1～3/31	490	455	92.9%
		2回目		490	457	93.3%
		追加		480	462	96.3%
	2期	677		559	82.6%	
2 種混合 2 期			4/1～3/31	692	551	79.6%
ヒトパピローウイルス感染症 予防ワクチン 【小6から高1】	1 回 目		4/1～3/31	1,183	230	19.4%
	2回目			1,183	226	19.1%
	3回目			1,183	60	5.1%
ヒトパピローウイルス感染症 予防ワクチン 【キャッチアップ】	1 回 目		4/1～3/31	1,672	0	0.0%
	2回目			1,672	83	5.0%
	3回目			1,672	187	11.2%
新型コロナ			10/1～1/31	35,339	2,737	7.7%
高齢者インフルエンザ			10/1～1/31	35,339	18,918	53.5%
高齢者肺炎球菌ワクチン			4/1～3/31	1,318	548	41.6%
带状疱疹ワクチン			4/1～3/31	7,686	2,443	31.8%

風しん抗体等助成事業

種目	実施月日	実施者数
風しん抗体検査（任意）	4/1～3/31	24
風しん予防接種（任意）		9
麻しん風しん混合予防接種（任意）		16

風しん5期

種目	実施月日	対象者数	実施者数	実施率
風しん抗体検査実施数	4/1～3/31	6,280	188	3.0%
麻しん風しん混合予防接種実施数		132	10	7.6%

季節性インフルエンザ予防接種

種目	実施月日	人数	実施率
対象者数	10/1～1/31	11,612	37.5%
実施者数（実人数）		4,358	
実施者数（延人数）		5,992	

4. 健康増進事業

健康増進法にもとづき、市民を対象に、医療を除く4つの保健事業（健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導）を実施している。

目的は、がん、心臓病、脳卒中等に代表される生活習慣病の早期発見・早期治療により、その罹患率と死亡率の低下を図ることにある。

このうち、健康診査においては、がん検診受診者数の増加、受診率の向上にむけ、検診機会の拡充や受けやすい検診環境の整備、検診についての啓発を積極的にすすめている。

特に、平成26年度からは、ピロリ菌検査（胃がんリスク評価検査）を市の検診に導入し、胃がん検診（バリウム検査）とセットで受診をすることにより、胃がん検診の受診率の向上を図った。また、働いている方（被保険者本人）で職場検診のない方が早朝に短時間でがん検診を受けることができる早朝がん検診の実施、子育て中の女性のため、託児を設けるなど受診しやすい環境整備を図っている。

さらに、女性特有のがん検診推進事業（節目年齢者に子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券送付）、土曜日健（検）診実施、日曜日のがん検診実施、肝炎ウイルス無料クーポン券の送付など、検診についての啓発を積極的にすすめるための事業を行った。

健康教育では、糖尿病予防に特化した健診結果説明会や生活習慣病予防の指導を行い、特定健診等の啓発を行った。

健康増進法以外の事業としては、酒田市国民健康保険、県後期高齢者医療広域連合よりそれぞれ委任・委託を受け、特定健診・特定保健指導及び高齢者健診を実施した。

平成28年度から2年計画の第1期データヘルス事業（保健事業実施計画）、平成30年度から6年計画の第2期データヘルス事業を実施し、令和6年度から6年計画の第3期データヘルス事業を実施する。

国保加入者に対し、特定健診未受診者対策として、経年未受診者へ受診勧奨の郵送を行った。

生活習慣病予防の重症化予防を図るためのフォローアップ事業として、特定健診受診者の受診勧奨判定値を超えている者に対しては、健診結果説明会での個別指導と、文書による受診勧奨を実施して医療機関への適切な受診を促すことができた。

生活習慣病予防に重点を置いた取組（早期介入保健指導事業）では、健診料金の助成など行い、受けやすい健診環境を整えた。

健康教育では、前年度に引き続き、郵送による資料配布のコースと、糖尿病と高血圧症予防の健康教室を5回実施した。

また、酒田市独自の事業として、若い時期からの健康への関心と生活習慣の改善による予防が重要なことから、16歳～39歳の市民を対象に若年者健診を実施している。

骨粗しょう症検診は、高齢者の骨折の原因疾患となる骨粗しょう症の早期発見になり、庄内検診センターに委託して、集団健診、人間ドックで継続実施している。

(1) 健康教育、健康相談

健康教育・相談においては、日常生活習慣が疾病の発生に大きく関与することから、これを見直し、自ら改善に取り組めるようにするため、食生活・運動・休養などの面から、個人に即した具体的な指導を行っている。

種 別			令和5年度	令和6年度	令和7年度
			実 績	実 績	実 績
40歳以上人口			67,427人	67,427人	66,489人
健康手帳交付	40歳以上の新規				
	更新・再交付				
	合 計				
健 康 教 育	個別健康 教 育	回 数	0回	0回	0回
		受講人員	0人	0人	0人
	集団健康 教 育	回 数	92回	106回	124回
		受講人員	2,700人	1,965人	2,628人
	介護家族 健康教育	回 数	0回	0回	0回
		受講人員	0人	0人	0人
	従事職員 (非常勤含む)	医 師	1人	0人	0人
		歯科医師	20人	20人	0人
		保健師	164人	155人	163人
		栄養士	28人	16人	15人
		歯科衛生士	56人	35人	18人
		その他	40人	91人	23人
健 康 相 談	重点健康 相 談	回 数	93回	98回	110回
		受講人員	713人	1,160人	1,074人
	総合健康 相 談	回 数	31回	23回	47回
		受講人員	559人	626人	972人
	介護家族 相 談	回 数	0回	0回	1回
		受講人員	0人	0人	2人
	従事職員 (非常勤含む)	医 師	0人	0人	1人
		歯科医師	20人	20人	0人
		保健師	290人	277人	277人
		栄養士	32人	34人	72人
		歯科衛生士	54人	34人	13人
		その他	167人	134人	101人

① 健康教育

教育内容		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
		回数	延人員(人)	回数	延人員(人)	回数	延人員(人)
1. 集団健康教育		92	2,700	106	1,965	124	2,628
重点教育	①歯周疾患予防	19	334	24	828	19	758
	②骨粗(転倒防止)予防	0	0	0	0	0	0
	③薬	0	0	2	21	3	76
	④病態別教育	29	1,634	29	513	42	783
	小計	48	1,968	55	1,362	64	1,617
一般教育	①寝たきり予防	0	0	0	0	2	31
	②健診結果と健康管理	2	51	1	30	1	18
	③日常生活と健康	6	120	10	175	14	271
	④食生活と健康	10	206	4	53	5	58
	⑤運動と健康	19	187	24	152	10	144
	⑥高齢者の健康	6	145	4	58	9	208
	⑦組織づくり	1	23	0	0	4	74
	⑧その他	0	0	8	135	15	207
	小計	44	732	51	603	60	1,011
2. 個別健康教育		0	0	0	0	0	0
①高脂血症個別健康教育		0	0	0	0	0	0
②糖尿病個別健康教育		0	0	0	0	0	0
③喫煙者個別健康教育		0	0	0	0	0	0
④高血圧個別健康教育		0	0	0	0	0	0
介護家族健康教育		0	0	0	0	0	0
合計		92	2,700	106	1,965	124	2,628

② 健康相談

相談内容		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
		回数	延人員(人)	回数	延人員(人)	回数	延人員(人)
重点健康相談	①高血圧健康相談	1	5	0	0	7	100
	②高脂血症健康相談	0	0	0	0	4	104
	③糖尿病予防健康相談	0	0	1	1	8	79
	④歯周疾患健康相談	15	280	23	773	16	280
	⑤骨粗鬆症健康相談	1	6	0	0	0	0
	⑥病態別健康相談	76	422	73	381	75	511
	⑦女性の健康相談	0	0	1	5	0	0
	小計	93	713	98	1,160	110	1,074
総合健康相談	①健診結果と健康管理	3	54	0	0	2	26
	②日常生活と健康	22	417	8	228	20	586
	③食生活と健康	5	70	6	105	11	152
	④高齢者の健康相談	0	0	0	0	0	0
	⑤寝たきり・脳卒中再発予防	0	0	2	19	2	23
	⑥その他	1	18	7	274	12	185
	小計	31	559	23	626	47	972
介護家族健康相談		0	0	0	0	1	2
合計		124	1,272	121	1,786	158	2,048

(2) 健康診査

(単位：人)

健診種別		7年度 年間実施数	5年度 受診者数	6年度 受診者数	7年度 受診者数	前年度比較	さかた健康づくりビジョンでの目標値
胃がん	集団健診	137	3,597	3,523	3,393	△ 130	70%以上
	人間ドック	80+ α	2,715	2,565	2,457	△ 108	
	計	217+ α	6,312	6,088	5,850	△ 238	
	受診率		23.8%	9.0%	8.8%	△ 0.2p	
	対象者数		26,488	67,472	66,489		
大腸がん	集団健診	137	7,898	7,884	7,799	△ 85	70%以上
	人間ドック	80+ α	4,846	4,731	4,632	△ 99	
	計	217+ α	12,744	12,616	12,431	△ 185	
	受診率		48.1%	18.7%	18.7%	0.0p	
	対象者数		26,488	67,472	66,489		
子宮がん	集団健診	48	2,511	2,394	2,537	143	70%以上
	人間ドック	80+ α	1,789	1,751	1,737	△ 14	
	個別健診 (うち体部がん検診)		2,446 (46)	2,425 (34)	1,914 (26)	△ 511 (△8)	
	計	128+ α	6,746	6,570	6,188	△ 382	
	受診率		41.3%	15.2%	14.6%	△ 0.6p	
	対象者数		16,324	43,088	42,334		
乳がん	集団健診 (うちマンモグラフィ)	48	1,453 (1,453)	1,323 (1,323)	1,452 (1,452)	129 (129)	70%以上
	人間ドック (うちマンモグラフィ)	80+ α	1,230 (1,230)	1,225 (1,225)	1,158 (1,158)	△ 67 (△67)	
	個別健診 (うちマンモグラフィ)		768 (768)	791 (791)	715 (715)	△ 76 (△76)	
	計 (うちマンモグラフィ)	128+ α	3,451 (3,451)	3,339 (3,339)	3,325 (3,325)	△ 14 (△14)	
	受診率		22.5%	9.3%	9.4%	0.1p	
	対象者数		15,312	36,077	35,526		
肺がん	集団健診	137	10,348	10,175	9,997	△ 178	70%以上
	人間ドック	80+ α	4,927	4,843	4,729	△ 114	
	計	217+ α	15,275	15,018	14,726	△ 292	
	受診率		57.7%	22.3%	22.1%	△ 0.2p	
	対象者数		26,488	67,472	66,489		
前立腺がん	集団健診	137	1,907	1,916	1,990	74	
	人間ドック	80+ α	1,918	1,900	1,896	△ 4	
	計	217+ α	3,825	3,816	3,886	70	
	受診率		34.2%	12.2%	12.6%	0.4p	
	対象者数		11,176	31,395	30,963		
肝炎ウイルス	集団健診	137	279	303	198	△ 105	
	人間ドック	80+ α	72	79	65	△ 14	
	個別健診		503	370	305	△ 65	
	計	217+ α	854	752	568	△ 184	
	肝炎二次		0	0	0	0	

※ 年間実施日で、人間ドックの本間病院、庄内余目病院の実施日は随時であるため+ αとした。また個別健診の実施日は、4月～2月までの期間で随時実施である。乳がんについては令和2年度より対象者数の算出方法を変更した。

※ 令和6年度より対象者数の算出方法を見直し

(ア) 胃がん検診

- ・検診の内容 問診、胃部エックス線検査
- ・検診対象者 40歳以上の市民で職場等の検診のない方
- ・受診状況推移

年 度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
対 象 者 数		27, 099人	26, 821人	26, 488人	67, 472人	66, 489人	
第 一 次 検 査	受 診 者 数	6, 883	6, 577	6, 312	6, 088	5, 850	
	受 診 率	25. 4%	24. 5%	23. 8%	9. 0%	8. 8%	
	異 常 を 認 め ず	6, 487	6, 209	5, 883	5, 747	5, 519	
	要 精 検	396	368	429	341	331	
	要 精 検 率	5. 8%	5. 6%	6. 8%	5. 6%	5. 7%	
第 二 次 検 査 (※)	精 検 受 診 者 数		313	298	361	208	198
	精 検 受 診 率		79. 0%	81. 0%	84. 1%	61. 0%	59. 8%
	確 定 診 断	異常を認めず	60	51	66	38	29
		がんであったもの	8	10	8	5	4
		がんの疑いのあるもの	4	1	3	1	3
		その他（経過観察・その他疾病）	241	236	284	164	162

※7年度の第二次検査は令和8年5月29日現在、他年度の第二次検査は概要作成時の数値

※令和6年度より対象者数の算出方法を見直し

ピロリ菌検査(胃がん検診(胃部エックス線検査)とセット)

- ・検診の内容 血液検査による胃がんリスク評価検査(ABC検査)
- ・検診対象者 40歳以上の市民で職場等の検診のない方

受診者数 (クーポン対象者)		リスク評価		精検受診者	精検受診率	除菌者数	除菌率	がん 発見 者数
		異常を認めず (A群)	精検対象者 (BCD群)					
R6	135人 (37人)	86人	49人	31人	63.3%	14人	45.2%	0人
R7	107人 (34人)	72人	35人	24人	68.6%	12人	50.0%	0人

(イ) 大腸がん検診

- ・検診の内容 問診、便潜血検査
- ・検診対象者 40歳以上の市民で職場等の検診のない方
- ・受診状況推移

年 度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
対 象 者 数		27,099人	26,821人	26,488人	67,472人	66,489人	
第 一 次 検 査	受 診 者 数	12,907	12,855	12,744	12,616	12,431	
	受 診 率	47.6%	47.9%	48.1%	18.7%	18.7%	
	異 常 を 認 め ず	12,061	12,047	11,952	11,756	11,645	
	要 精 検	846	808	792	860	786	
	要 精 検 率	6.6%	6.3%	6.2%	6.8%	6.3%	
第 二 次 検 査 (※)	精 検 受 診 者 数		642	566	588	662	409
	精 検 受 診 率		75.9%	70.0%	74.2%	77.0%	52.0%
	確 定 診 断	異常を認めず	203	157	179	207	123
		がんであったもの	20	21	19	21	20
		がんの疑いのあるもの	4	11	9	9	2
		その他（経過観察・その他疾病）	415	377	381	425	264

※7年度の第二次検査は令和8年5月29日現在、他年度の第二次検査は概要作成時の数値

※令和6年度より対象者数の算出方法を見直し

(ウ) 子宮がん検診

- ・検診の内容 頸部検査、体部検査、問診、視診、内診、細胞診
(体部検査は、50歳以上で閉経後、不正出血等、異常があり医師が必要とした場合に実施)
- ・検診対象者 20歳以上の市民で職場等の検診のない方
- ・受診状況推移

年	度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対 象 者 数		17,005人	16,665人	16,324人	43,088人	42,334人
第 一 次 検 査	受 診 者 数	7,028	6,890	6,746	6,570	6,188
	受 診 率	41.3%	41.3%	41.3%	15.2%	14.6%
	異 常 を 認 め ず	6,958	6,819	6,656	6,394	6,141
	要 精 検	70	71	90	60	47
	要 精 検 率	1.0%	1.0%	1.3%	0.9%	0.8%
第 二 次 検 査 (※)	精 検 受 診 者 数	61	53	60	53	17
	精 検 受 診 率	87.1%	74.6%	66.7%	88.3%	36.2%
	確 定 診 断	異常を認めず	20	17	19	24
		がんであったもの	1	6	2	1
		経過観察	18	11	24	6
		その他の疾病	22	19	15	22

※7年度の第二次検査は令和8年5月29日現在、他年度の第二次検査は概要作成時の数値

■ 健康増進事業での子宮がん検診の実施指針は、20歳以上の者への（2年に1回の）隔年検診とされている。（平成17年度より）

■ 厚生労働省健康増進事業報告及び山形県検診成績表における受診者数、受診率は、下記のとおり算定される。

受診率=（（前年度の受診者数）+（当該年度の受診者数）-（前年度と当該年度の2ヵ年連続の受診者数））／（当該年度の対象者数）

令和7年度	7年度の受診率	6年度受診者数	7年度受診者数	2ヵ年連続受診者数	7年度対象者数
	20.3%	6,570人	6,188人	4,164人	42,334人
令和6年度	6年度の受診率	5年度受診者数	6年度受診者数	2ヵ年連続受診者数	6年度対象者数
	20.6%	6,746人	6,570人	4,430人	43,088人
令和5年度	5年度の受診率	4年度受診者数	5年度受診者数	2ヵ年連続受診者数	5年度対象者数
	56.3%	6,890人	6,746人	4,445人	16,324人
令和4年度	4年度の受診率	3年度受診者数	4年度受診者数	2ヵ年連続受診者数	4年度対象者数
	56.2%	7,028人	6,890人	4,547人	16,665人
令和3年度	3年度の受診率	2年度受診者数	3年度受診者数	2ヵ年連続受診者数	3年度対象者数
	54.8%	6,691人	7,028人	4,407人	17,005人

※令和6年度より対象者数の算出方法を見直し

(エ) 乳がん検診

- ・検診の内容 問診、視診、触診、マンモグラフィ（乳がん専用X線撮影）検査
 - ① 40歳以上の方は、視触診検査のほか、マンモグラフィ検査が必須
 - ② 65歳以上の方は、問診、視触診検査のみ
- ・検診対象者 40歳以上の市民で職場等の検診のない方
- ・受診状況推移

年	度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対 象 者 数		15,886人	15,605人	15,312人	36,077人	35,526人
第 一 次 検 査	受 診 者 数	3,597	3,440	3,451	3,339	3,325
	受 診 率	22.6%	22.0%	22.5%	9.3%	9.4%
	異 常 を 認 め ず	3,398	3,273	3,355	3,255	3,242
	要 精 検	199	167	96	84	83
	要 精 検 率	5.5%	4.9%	2.8%	2.5%	2.5%
第 二 次 検 査 (※)	精 検 受 診 者 数	176	137	81	73	48
	精 検 受 診 率	88.4%	82.0%	84.4%	86.9%	57.8%
	確 定 診 断	異常を認めず	69	58	31	21
		がんであったもの	15	11	8	11
		がんの疑いのあるもの	2	2	1	2
		その他の疾病	90	66	37	14

※7年度の第二次検査は令和8年5月29日現在、他年度の第二次検査は概要作成時の数値

■ 健康増進事業での乳がん検診の実施指針は、40歳以上の者への（2年に1回の）隔年検診とされている。（平成17年度より）

■ 厚生労働省健康増進事業報告及び山形県検診成績表における受診者数、受診率は、下記のとおり算定される。

受診率=（（前年度の受診者数）+（当該年度の受診者数）-（前年度と当該年度の2ヵ年連続の受診者数））／（当該年度の対象者数）

令和7年度	7年度の受診率	6年度受診者数 (40歳以上)	7年度受診者数 (40歳以上)	2ヵ年連続受診者数	7年度対象者数
	18.4%	3,339人	3,325人	132人	35,526人
令和6年度	6年度の受診率	5年度受診者数 (40歳以上)	6年度受診者数 (40歳以上)	2ヵ年連続受診者数	6年度対象者数
	18.3%	3,451人	3,339人	173人	36,077人
令和5年度	5年度の受診率	4年度受診者数 (40歳以上)	5年度受診者数 (40歳以上)	2ヵ年連続受診者数	5年度対象者数
	44.0%	3,440人	3,451人	147人	15,312人
令和4年度	4年度の受診率	3年度受診者数 (40歳以上)	4年度受診者数 (40歳以上)	2ヵ年連続受診者数	4年度対象者数 (※)
	43.9%	3,597人	3,440人	184人	15,605人
令和3年度	3年度の受診率	2年度受診者数 (40歳以上)	3年度受診者数 (40歳以上)	2ヵ年連続受診者数	3年度対象者数 (※)
	42.9%	3,407人	3,597人	182人	15,886人

※令和6年度より対象者数の算出方法を見直し

(オ) 肺がん検診

- ・検診の内容 問診、胸部X線検査
喀痰細胞診 ① 50歳以上で喫煙指数（年数×本数）が600以上の場合
② 6か月以内に、血痰のあった人
- ・検診対象者 40歳以上の市民で職場等の検診のない方
- ・受診状況推移

年	度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対 象 者 数		27,099人	26,821人	26,488人	67,472人	66,489人
第 一 次 検 査	受 診 者 数	15,412	15,316	15,275	15,018	14,726
	受 診 率	56.9%	57.1%	57.7%	22.3%	22.1%
	異 常 を 認 め ず	14,790	14,754	14,684	14,324	14,287
	要 精 検	622	562	591	694	439
	要 精 検 率	4.0%	3.7%	3.9%	4.6%	3.0%
第 二 次 検 査 (※)	精 検 受 診 者 数	481	457	481	506	354
	精 検 受 診 率	77.3%	81.3%	81.4%	72.9%	80.6%
	確 定 診 断	異常を認めず	243	194	210	173
		がんであったもの	13	3	14	7
		その他の疾病	245	260	259	174

※7年度の第二次検査は令和8年5月29日現在、他年度の第二次検査は各年度の概要作成時の数値。令和2年度からの「その他の疾病」は診断で「がん以外」に分類された数を計上。

※令和6年度より対象者数の算出方法を見直し

(カ) 前立腺がん検診 （平成17年度11月（市町村合併）から検診に追加して実施）

- ・検診の内容 PSA検査（血液検査）
- ・検診対象者 40歳以上の市民で職場等の検診のない方
- ・受診状況推移

年	度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対 象 者 数		11,213人	11,216人	11,176人	31,395人	30,963人
第 一 次 検 査	受 診 者 数	3,916	3,932	3,825	3,816	3,886
	受 診 率	34.9%	35.1%	34.2%	12.2%	12.6%
	異 常 を 認 め ず	3,602	3,649	3,502	3,519	3,571
	要 精 検	314	283	323	297	315
	要 精 検 率	8.0%	7.2%	8.4%	7.8%	8.1%
第 二 次 検 査 (※)	精 検 受 診 者 数	218	195	236	230	236
	精 検 受 診 率	69.4%	68.9%	73.1%	77.4%	74.9%
	確 定 診 断	異常を認めず	27	26	35	34
		がんであったもの	13	20	26	14
		がんの疑いのあるもの	22	25	47	33
		その他の疾病	156	124	136	155

※7年度の第二次検査は令和8年5月29日現在、他年度の第二次検査は各年度の概要作成時の数値

※令和6年度より対象者数の算出方法を見直し

(キ)がん検診無料クーポン事業
(女性特有のがん検診推進事業)

		令和6年度			令和7年度			前年度比
		クーポン券 発行数	クーポン券 利用受診者 数	受診率	クーポン券 発行数	クーポン券 利用受診者 数	受診率	
ピロリ菌 検査	41歳	1,008人	37人	3.7%	802人	34人	4.2%	0.5%
子宮がん	21歳～31歳、5歳節目年齢 (21・26・31)	951人	177人	18.6%	902人	166人	18.4%	0.2%
乳がん	41歳	492人	111人	22.6%	422人	109人	25.8%	3.2%
肝炎 ウイルス	40歳～65歳、5歳節目年齢 (40・45・50・55・60・65)	5,661人	722人	12.8%	5,211人	536人	10.3%	△ 2.5%

・クーポン実施

※令和元年度より、クーポン券の対象者が変更になっている。ピロリ菌検査46歳～71歳の5歳節目年齢、子宮がん検診36,41歳の節目年齢、乳がん検診の46歳～61歳の5歳節目年齢を除いたもの。

(ク) 肝炎ウイルス検診 (平成14年度から実施)

- 検診の内容 ①問診、HCV抗体検査、HCV抗原検査、HCV-RNA検査、HBs抗原検査
(注) HCV抗原検査はHCV抗体検査により中力価及び低力価とされた検体に対して実施
- 検診対象者 ①節目検診－40歳の市民で職場等で検診のない方
②節目外検診－平成14年度から18年度までの肝炎ウイルス検診の対象者*で、
受診の機会を逸した方
③二次検診－基本健康審査によりGPT値が「要指導」(36～45IU/l)のもの

*平成14年度から18年度までの肝炎ウイルス検診の対象者とは、当該年度において40、45、50、55、60、65、70歳の方の節目検診対象者をいう。

(単位：人)

	6年度受診者数	7年度受診者数	うちC型肝炎陽性	うちB型肝炎陽性
節目検診 節目外検診(機会逸した者)	754	568	0	0
第二次検診	0	0	0	0

※ 肝炎ウイルス検診は、国のC型肝炎等緊急総合対策事業として、平成14年度から5ヵ年計画で年齢節目検診で実施されてきたもの。(平成18年度で事業終結のところ、)平成19年度からは、40歳のみの節目検査とされた。

平成23年度から節目検診対象者に対し無料クーポン券を実施した。

(ケ) 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症は寝たきりの原因となる骨折の基礎疾患であるとともに腰痛や脊椎の変形の原因となる。

骨粗しょう症検診を実施するとともに、その予防啓発のための健康指導を行っている。

- 検診の内容 超音波骨密度測定と骨粗しょう症予防指導。平成22年度までは健康センター等で実施 30回/年。
平成23年度から庄内検診センターへ委託した。令和4年度からは庄内検診センター会場のみで実施。
- 検診対象者 16歳～39歳女性と40歳以上の男女

(単位：人)

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度増減
骨粗しょう症検診	1,562	1,987	2,051	2,004	△ 47

(コ) 若年者健診

- 検診の内容 基本健診項目の検査
検診センターで実施、19回/年、各コミセンの集団健診と同時に実施
- 検診対象者 16歳～39歳の一般市民(職場等で健診のない者)

(単位：人)

検診項目		令和4年度 受診者数	令和5年度 受診者数	令和6年度 受診者数	令和7年度 受診者数	前年度比較
若年者健診	男	265	245	239	252	13
	女	452	429	358	371	13
	合計	717	674	597	623	26

各種がん検診がん発見数の推移

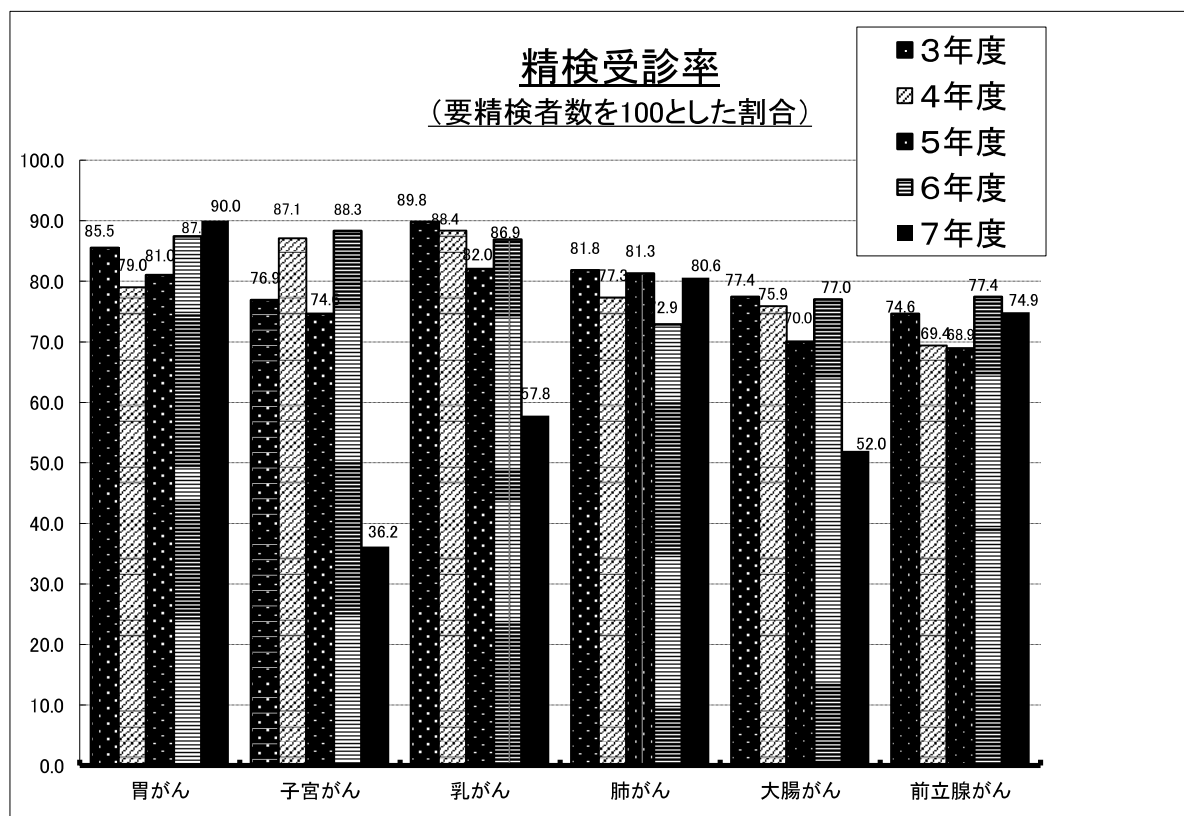
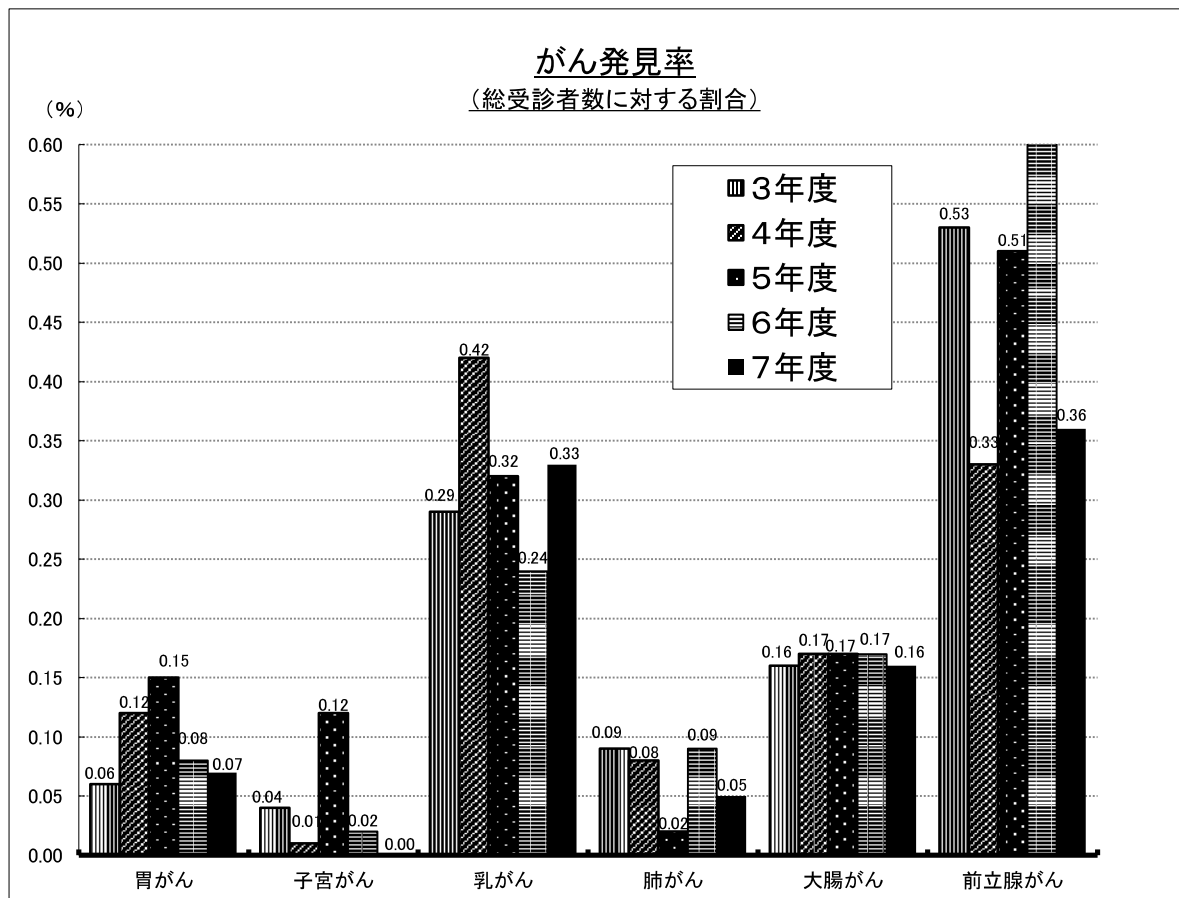
(単位；人)

検 診	項 目	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
胃がん	総受診者数	6,726	6,883	6,577	6,312	6,088	5,850
	要精検者数	393	396	368	429	341	331
	がん発見数	4	8	10	8	5	4
	がん発見率	0.06%	0.12%	0.15%	0.13%	0.08%	0.07%
子宮がん	総受診者数	6,691	7,028	6,890	6,746	6,570	6,188
	要精検者数	78	70	71	90	60	47
	がん発見数	3	1	6	2	1	0
	がん発見率	0.04%	0.01%	0.09%	0.03%	0.02%	0.00%
乳がん	総受診者数	3,407	3,597	3,440	3,451	3,339	3,325
	要精検者数	196	199	167	96	84	83
	がん発見数	10	15	11	12	8	11
	がん発見率	0.29%	0.42%	0.32%	0.35%	0.24%	0.33%
肺がん	総受診者数	14,997	15,412	15,316	15,275	15,018	14,726
	要精検者数	680	622	562	591	694	439
	がん発見数	13	13	3	12	14	7
	がん発見率	0.09%	0.08%	0.02%	0.08%	0.09%	0.05%
大腸がん	総受診者数	12,478	12,907	12,855	12,744	12,616	12,431
	要精検者数	836	846	808	792	860	786
	がん発見数	19	20	21	19	21	20
	がん発見率	0.15%	0.15%	0.16%	0.15%	0.17%	0.16%
前立腺がん	総受診者数	3,991	3,916	3,932	3,825	3,816	3,886
	要精検者数	338	314	283	323	297	315
	がん発見数	21	13	20	18	26	14
	がん発見率	0.53%	0.33%	0.51%	0.47%	0.68%	0.36%

令和 7 年度年代別がん発見数

(単位；人)

	項目	胃がん	子宮がん	乳がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん	総 計
	年齢層							
男	20～29							0
	30～39							0
	40～44							0
	45～49							0
	50～54							0
	55～59							0
	60～64					1		1
	65～69				1	4	3	8
	70～74						4	4
	75～79	2			1	6	3	12
	80～	2			4	4	4	14
	計	4			6	15	14	39
女	20～29							0
	30～39							0
	40～44							0
	45～49							0
	50～54			1				1
	55～59			2				2
	60～64							0
	65～69			2		1		3
	70～74			1	1	2		4
	75～79			3				3
	80～			2		2		4
	計			11	1	5		17
合 計		4	0	11	7	20	14	56



(3) 検診申込状況

平成18年度検診実施分から、「各種検診申込及び受診状況調査書」による検診申込み方法へ改善し、受診者との双方向で検診についてのやりとりのできる方式へ変更した。これにより、受診者の検診への動機づけとともに、受診対象者の把握と受診勧奨を積極的に実施できるものとなった。

検診対象者（19歳以上の者）が属する全世帯へ申込・調査書を送付し、申込みと各自の受診状況を回答もらう。

平成27年度より、申込み方法を登録制に移行し、受診者の負担軽減と効率化を図っている。

① 申込回収数

(単位：人、ポイント)

		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	前年度比較	
送付数	男	40,764	40,295	39,692	39,020	△ 672	
	女	45,000	44,281	43,518	42,865	△ 653	
	計	85,764	84,576	83,210	81,885	△ 1,325	
申込者数	男	31,896	31,779	26,065	24,903	△ 1,162	
	女	34,832	34,498	33,280	32,487	△ 793	
	計	66,728	66,277	59,345	57,390	△ 1,955	
内訳	回収数	男	8,836	8,452	7,945	8,074	129
		女	10,116	9,713	9,096	9,442	346
		計	18,952	18,165	17,041	17,516	475
	登録数	男	23,060	23,327	18,120	16,829	△ 1,291
		女	24,716	24,785	24,184	23,045	△ 1,139
		計	47,776	48,112	42,304	39,874	△ 2,430
未申込数	男	8,868	8,516	13,627	14,117	490	
	女	10,168	9,783	10,238	10,378	140	
	計	19,036	18,299	23,865	24,495	630	
申込率	男	78.2%	78.9%	65.7%	63.8%	△ 1.8	
	女	77.4%	77.9%	76.5%	75.8%	△ 0.7	
	計	77.8%	78.4%	71.3%	70.1%	△ 1.2	

② 申込数

(単位：人、ポイント)

項目	年度	特定健診等	胃がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	肺がん検診
申込者数	令和5年度	30,949	12,540	17,540	15,223	2,901	20,039
	令和6年度	30,584	12,408	17,576	15,533	2,830	20,093
	令和7年度	30,151	12,228	17,478	15,674	2,738	19,984
	令和8年度	29,613	11,776	17,207	15,255	2,832	19,754
	前年度比較	△ 538	△ 452	△ 271	△ 419	94	△ 230
受診者数	令和5年度	10,373	6,312	12,744	6,746	3,451	15,275
	令和6年度	9,845	6,088	12,615	6,568	3,339	15,018
	令和7年度	9,845	5,850	12,431	6,188	3,325	14,726
	前年度比較	0	△ 238	△ 184	△ 380	△ 14	△ 292
健診実施率	令和5年度	33.5%	50.3%	72.7%	44.3%	119.0%	76.2%
	令和6年度	32.2%	49.1%	71.8%	42.3%	118.0%	74.7%
	令和7年度	32.7%	47.8%	71.1%	39.5%	121.4%	73.7%
	前年度比較	0.5	△ 1.2	△ 0.7	△ 2.8	3.5	△ 1.1

※ 申込者数は、各年度の4月現在のもの

※ 特定健診等とは、特定健診及び高齢者健診の計

地区別検診受診者数

(単位:人)

内 容	酒 田			八 幡			松 山			平 田			合 計			前年度増減
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
胃がん検診	集 団	2,882	2,859	2,725	247	226	187	259	231	221	288	258	3,676	3,574	3,393	△ 181
	人間ドック	2,084	1,966	1,878	200	189	178	202	204	187	251	238	2,737	2,597	2,457	△ 140
	計	4,966	4,825	4,603	447	415	365	461	435	408	539	496	6,413	6,171	5,850	△ 321
大腸がん検診	集 団	6,484	6,484	6,430	447	445	404	471	456	440	556	513	7,958	7,898	7,799	△ 99
	人間ドック	3,814	3,732	3,660	360	339	312	285	283	278	393	410	4,852	4,764	4,632	△ 132
	計	10,298	10,216	10,090	807	784	716	756	739	718	949	923	12,810	12,662	12,431	△ 231
子宮がん検診 (再掲体部)	集 団	2,164	2,070	2,192	145	137	128	128	94	102	130	116	2,567	2,417	2,537	120
	人間ドック	1,415	1,387	1,380	107	103	88	107	124	123	152	147	1,781	1,761	1,737	△ 24
	個 別 (再掲体部)	2,132 (39)	2,078 (30)	1,672 (25)	132 (1)	121 (2)	91 (0)	84 (1)	78 (3)	59 (0)	147 (2)	115 (2)	2,495 (43)	2,392 (37)	1,914 (26)	△ 478 (△ 11)
乳がん検診	計	5,711	5,535	5,244	384	361	307	319	296	284	429	378	6,843	6,570	6,188	△ 382
	集 団	1,265	1,146	1,269	86	69	64	73	55	55	74	64	1,498	1,334	1,452	118
	人間ドック	949	975	897	86	81	69	66	82	82	92	118	1,193	1,256	1,158	△ 98
肺がん検診	個 別	660	675	620	41	40	39	21	18	17	43	50	765	783	715	△ 68
	計	2,874	2,796	2,786	213	190	172	160	155	154	209	232	3,456	3,373	3,325	△ 48
	集 団	8,541	8,458	8,267	634	631	578	561	545	523	653	631	10,389	10,265	9,997	△ 268
前立腺がん検診	人間ドック	3,895	3,831	3,748	362	343	319	286	281	280	400	408	4,943	4,863	4,729	△ 134
	計	12,436	12,289	12,015	996	974	897	847	826	803	1,053	1,039	15,332	15,128	14,726	△ 402
		3,119	3,119	3,155	252	238	241	216	199	207	280	269	3,867	3,825	3,886	61
肝炎ウィルス検診	集 団	234	267	168	14	21	7	10	15	6	16	9	274	312	198	△ 114
	人間ドック	58	67	50	6	2	3	7	6	4	7	6	78	81	65	△ 16
	個 別	437	325	270	21	16	10	14	18	12	27	32	499	391	305	△ 86
	計	729	659	488	41	39	20	31	39	22	50	47	851	784	568	△ 216

(4) 歯科健診

(ア) 飛鳥地区住民の歯科検診と健康相談

種 別		令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較
日 時		5月24日～25日	5月22日～23日	5月21日～22日	
場 所		とびしま総合センター	とびしま総合センター	とびしま総合センター	
対 象 者		50人	45人	—	—
受 診 者		18人	24人	—	—
従事 職員	歯科医師	3人	3人	—	
	歯科衛生士	3人	3人	—	

※令和7年度は天候の理由にて実施できず。

(イ) 歯周疾患検診

県事業（県歯科医師会委託）の個別検診方式により、20歳以上の節目検診（年度内20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳になる方）対象者に受診券を交付して実施した。

種別		令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較
対 象 者 数		5,473人	5,066人	6,212人	
受 診 者 数		227人	229人	250人	21人
内 訳	男	84人 (37.0%)	99人 (43.2%)	88人 (35.2%)	△ 11人
	女	143人 (63.0%)	130人 (56.8%)	162人 (64.8%)	32人
年 齢	20歳～29歳	—	—	20人 (0.3%)	
	30歳～39歳	—	—	31人 (0.5%)	
	40歳～49歳	30人 (13.2%)	40人 (17.5%)	27人 (10.8%)	△ 13人
	50歳～59歳	57人 (25.1%)	47人 (20.5%)	41人 (16.4%)	△ 6人
	60歳～69歳	65人 (28.6%)	61人 (26.6%)	54人 (21.6%)	△ 7人
	70歳以上	75人 (33.0%)	81人 (35.4%)	77人 (30.8%)	△ 4人
健 診 結 果	異常なし	29人 (12.8%)	28人 (12.2%)	23人 (9.2%)	△ 5人
	要指導	84人 (37.0%)	65人 (28.4%)	71人 (28.4%)	6人
	要精検	114人 (50.2%)	136人 (59.4%)	156人 (62.4%)	20人
	該当なし	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人

※令和7年度より20歳、30歳を追加。

(ウ) 訪問口腔指導事業

寝たきり高齢者や虚弱高齢者の日常生活における基本的生活の質の低下を防ぎ、喜びをもって生活してもらうために、居宅訪問等により口腔衛生の相談・指導を実施し、高齢者の口腔衛生の改善を図っている。

指導実施者数 実人数：5人 延人数：5人

(5) 訪問指導（特定保健指導分含む）

保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して、保健師等が訪問し必要な指導を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図っている。特に、基本健康診査等の結果による要指導・要精査・要医療者への訪問指導をとおして、生活習慣病予防を図るとともに、閉じこもりや転倒などの介護を要する状態になることの予防のため、保健指導を行なっている。

また、歯科衛生士による訪問口腔指導、栄養士による栄養指導等も実施している。

健康増進事業対象（40歳以上）

（単位：人）

指導項目	要指導者	虚弱	介護家族	寝たきり	認知症	その他	合計
実人員	122	0	0	1	5	11	139
延人員	156	0	0	1	9	11	177

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業対象（75歳以上）

（単位：人）

	R4	R5	R6	R7
ハイリスクアプローチ	9	191	229	150

（６）令和７年度特定健康診査、特定保健指導、高齢者健診実績

平成20年度から、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予防に着目した特定健診・特定保健指導（医療保険者による、40歳～74歳の被保険者・被扶養者を対象とする基本健診及びメタボ該当者・予備群を対象としての保健師・管理栄養士による計画的指導）を実施している。

①特定健診（酒田市国民健康保険被保険者（40歳～74歳）の健康診査）

（単位：人）

特定健診	令和7年度 年間実施回数	令和7年度 受診者数A	うち、年度中に 国保資格喪失し た者B	うち、R7.4.2以 降に国保加入し た者等C	受診率対象人数 A－B－C
集団健診（検診センター）	137回	7,152	900	250	6,002
人間ドック（検診センター）	81回				
人間ドック（病院）	4月から2月	322	31	10	281
個別健診（医療機関）	4月から2月	250			250
計		7,724	931	260	6,533

国保加入対象者（年間 を通して国保加入）A	受診率対象者B	受診率C（B／A）	7年度 目標受診率D	目標値との比較 C－D（ポイント）
13,394	6,533	48.8%	53%	△ 4.2

②特定保健指導（上記特定健診の結果により、「動機付け支援」「積極的支援」に区分された人（メタボ該当者・予備群）を対象としての生活習慣病予防に向けた、保健師・管理栄養士による計画的指導）

（単位：人）

支援レベル	対象者数A	実施者数（初 回面接のみ終 了者含む）B	実施率 C（B／A）	7年度目標実施 率D	目標値との比 較C－D（ポイント）
動機付け支援	495	410	82.8%	71%	11.8
積極的支援	169	96	56.8%	71%	△ 14.2
計	664	506	76.2%	71%	5.2

※特定健診・特定保健指導の数値は、令和8年5月速報値。

※特定健診等実施計画目標値

項目	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
特定健康診査受診率	56%	58%	60%	52%	53%
特定保健指導実施率	55%	58%	60%	70%	71%

※令和５年度までは第３期、令和６年度からは第４期

③特定健診・特定保健指導の実施状況

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比較
特定健診対象者数	16,833人	16,360人	15,607人	14,934人	13,937人	△ 997人
特定健診受診者数	8,338人	8,370人	8,059人	7,872人	7,283人	△ 589人
特定健診受診率	49.5%	51.2%	51.6%	52.7%	52.3%	△ 0.4ポイント
特定保健指導対象者数	934人	874人	793人	765人	658人	△ 107人
うち積極的支援対象者数	215人	201人	171人	181人	170人	△ 11人
うち動機付け支援対象者数	719人	673人	622人	584人	488人	△ 96人
特定保健指導実施数※	693人	642人	583人	600人	476人	△ 124人
うち積極的支援実施者数	135人	142人	118人	129人	107人	△ 22人
うち動機付け支援実施者数	558人	500人	465人	471人	369人	△ 102人
特定保健指導実施率※	74.2%	73.5%	73.6%	78.4%	72.3%	△ 6.1ポイント
うち積極的支援実施率	62.8%	70.6%	69.0%	71.3%	62.9%	△ 8.4ポイント
うち動機付け支援実施率	77.6%	74.3%	74.3%	80.7%	75.6%	△ 5.1ポイント

※特定健診・特定保健指導実施結果総括表より

④高齢者健診（後期高齢者医療被保険者（75歳以上）の健康診査）

県後期高齢者医療広域連合より委託を受け、75歳以上の後期高齢者を対象に健診を実施している。なお、平成21年度より、年度途中で75歳になった場合は、受診日が75歳前であれば特定健診、75歳以降であれば高齢者健診での受診となった。

（単位：人）

高齢者健診	令和7年度 年間実施回数	令和7年度 受診者数A	令和7年度 被保険者数B	受診率(A/B)	平成6年度 受診者数
集団健診（予防協会）	137回	5,553	/	/	5,156
人間ドック（予防協会）	81回				
人間ドック（病院）	4月から2月	183			155
個別健診（医療機関）	4月から2月	1,046			1,085
計		6,782	19,867	34.1%	6,396

5. 歯と口腔の健康づくり事業

(1) 障がい児（者）の歯と口腔の健康づくり事業

歯科健診や歯科グッズ、フッ素塗布など予防歯科に利用できる助成券を配布し、難しいとされる障がい児の口腔ケアの向上を図った。

	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	対象	実績	割合	対象	実績	割合	対象	実績	割合
A 歯科健診	231人	0人	0%	243人	1人	0.4%	240人	2人	0.8%
B フッ素塗布		2人	0.9%		3人	1.2%		2人	0.8%
C 歯科グッズ		88人	38.1%		96人	39.5%		82人	34.2%
計	231人	90人	39.0%	243人	100人	41.2%	240人	86人	35.8%

(2) 妊産婦・パートナー歯科健康診査

妊娠をきっかけに自身の生活習慣の見直しやセルフケア能力の向上、生まれてくる子どもの健全な口腔機能の発育につなげることを目的に実施した。令和元年度より実施、3年度から対象を産婦にも拡大、5年度からは対象を妊産婦およびパートナーに拡大した。

対象者	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
妊産婦	392人	135人	34.4%	410人	137人	33.4%	336人	122人	36.3%
パートナー	363人	31人	8.5%	362人	59人	16.3%	304人	65人	21.4%

(3) 歯科合同研修会

乳幼児期と学童期の歯科保健に対する理解、課題共有を目的として、保育士、幼稚園教諭、養護教諭、保健師、歯科衛生士、栄養士等を対象に、研修会を開催している。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
日時	令和5年12月12日	令和6年12月5日	令和7年12月25日
会場	市民健康センター	市民健康センター	市民健康センター
講師	地区歯科医師会 渡部公希氏	奥山歯科診療所 飯淵義晃氏	奥山歯科診療所 飯淵義晃氏
テーマ	「噛む子は育つ」 ～健口から始めるすこやか成長戦略～	よりよい運動発達とスポーツでケガをしないための沸騰ワード「スポーツ歯科」	「歯と口のケガ その時どうする？」 ～できる予防と応急処置～
参加者	50名（対面39名、オンライン11名）	44名（対面37名、オンライン7名）	64名（対面参加47名、オンライン17名）

(4) 歯科健康教育

生涯にわたって歯や口腔の健康づくりに取り組むことができるよう、歯科健康教育を行った。

対象	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
成人（歯周疾患予防等）	16回	288人	20回	300人	13回	228人
乳幼児・保護者（う蝕予防）	22回	327人	22回	373人	20回	294人

(5) 高校生の口腔ケア向上啓発事業

高校卒業後の進学や就職により健康管理の状況が変化しやすいため、花王グループカスタマーマーケティング(株)との包括連携協定のもと、令和5年度より高等学校 2 年生に口腔ケアに関するリーフレットと高濃度フッ素歯磨き粉を配布し口腔ケアの重要性を啓発するとともに、口腔ケアの意識調査を実施している。さらに、令和6年度より高校 3 年生にも口腔ケアの意識調査を行うことで、歯と口腔に関する健康づくりの再啓発を行っている。

また、令和 6 年度より、希望のあった市内高等学校で、花王グループカスタマーマーケティング(株)と連携し、口腔ケア講座を実施した。

- ・高校2年生 配布数 765 人 アンケート回答数 725 人
- ・高校3年生 配布数 756 人 アンケート回答数 729 人
- ・口腔ケア講座実施 2 校

6. 救急医療対策事業

(1) 休日診療所について

開設場所 酒田市船場町二丁目1番31号 酒田市民健康センター（別館）

診療科目 小児科・内科・外科

医師等 医師2名（小児科1名、成人向け診療（内科・外科）1名）

薬剤師1名、看護師4名、事務員4名

調剤 院外処方（令和7年度から）

診療日 日曜日、祝日、12月31日から1月3日

診療時間 午前9時～正午、午後1時30分～午後5時

受付時間 午前8時30分～午前11時30分、午後1時～午後4時30分

令和7年度 休日診療所利用状況表

（単位：人）

診療月		令和7年4月～令和8年3月							
開所日数		71 日							
総患者数		1,956 人							
1日平均		27.5 人							
診療別患者数（a）		小児科医			成人系医			合計	割合（%）
		内科	外科	小計	内科	外科	小計		
		764	0	764	1,192	0	1,192		
割合		39.1%	0.0%	39.1%	60.9%	0.0%	60.9%		
(a)のうち 発熱外来	抗原検査数	434			888			1,322	67.6
	陽性者数	19			136			155	
時間別	午前	764	0	764	1,192	0	1,192	1,956	100.0
	午後								
年齢別	0～5歳	399	0	399				399	20.4
	6～14歳	365	0	365	141	0	141	506	25.9
	15～64歳				901	0	901	901	46.0
	65歳～				150	0	150	150	7.7
性別	男性	390			587			977	49.9
	女性	374			605			979	50.1
市町村別	酒田市	598	0	598	932	0	932	1,530	78.2
	遊佐町	66	0	66	78	0	78	144	7.4
	庄内町	57	0	57	107	0	107	164	8.4
	その他	43	0	43	75	0	75	118	6.0

※酒田地区医師会との協議により、令和4年3月6日より午前中みの診療とした。

※酒田地区医師会の協力のもと、発熱者への新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査を実施した。

(2) 夜間診療について

初期救急医療の確保と充実のため、市と酒田地区医師会及び日本海総合病院が連携し、日本海総合病院の救命救急センターにおいて夜間診療を実施した。

実施に当たっては、酒田地区医師会が当番医制で医師を派遣した。

夜間診療利用状況表

(単位：人)

年 度	平日夜間診療 実日数	うち応援医師に よる診察日数	応援医師診察 患者数		合 計
			小児科	一 般	
令和 4 年度	243	227	-	98	98
令和 5 年度	243	225	-	89	89
令和 6 年度	245	211	-	83	83
令和 7 年度	242	201	-	62	62

※日本海総合病院及び酒田地区医師会の協議により、小児科診療は令和 2 年 10 月 1 日より、土曜診療は令和 3 年 4 月 24 日より休止している。

(3) 休日歯科診療について

休日歯科診療は、5 月連休（3 日～5 日）と年末年始（12 月 31 日～1 月 3 日）の 7 日間を酒田地区歯科医師会に委託し当番医制で実施した。

休日歯科診療利用状況表

(単位：人)

年 度	診療日数	患 者 数		合 計
		市 内	市 外	
令和 5 年度	7	49	6	55
令和 6 年度	7	56	7	63
令和 7 年度	7	40	6	46

7. 献血推進事業

県内各医療機関等における輸血用血液の使用量等を配慮し設定された、令和 7 年度献血目標は 3,887 単位（対前年比 36 単位減、200ml 換算）で、目標達成のため関係機関団体と密接な連携をとりながら事業を推進した。

(1) 年度別献血状況

年度別	目標数 A	受付数 B	採血数 C	達成率 C/A	採血率 C/B
令和 5 年度	3,916	4,897	4,656	118.9	95.1
令和 6 年度	3,923	4,560	4,303	109.7	94.4
令和 7 年度	3,887	4,480	4,137	106.4	92.3

※目標数 A、受付数 B、採血数 C については平成 12 年度から 200ml × 1 単位 + 400ml × 2 単位として換算したもの。

(2) 献血協力団体の状況

(単位：人)

団体名	回数	受付数	採血数
事 業 所	23.0	1,828	1,692
官 公 署	10.0	1,091	1,003
地域献血（コミセン、総合支所）	6.0	350	308
各 種 学 校	2.0	201	183
街 頭 献 血	9.0	1,010	951
合 計	50.0	4,480	4,137

※受付数、採血数については 200ml × 1 単位 + 400ml × 2 単位として換算したもの